

企業も人もHappyであるために♪



これからの「社」に求められること

日時

令和6年 1月31日(水) 13:30~16:30 (受付開始13:00)

会場

三重県総合文化センター 小ホール

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地

対象

経営者・管理職・人事労務担当者をはじめ、女性活躍推進や、ジェンダーギャップ解消の取組に関心がある方。

参加無料

会場定員：100名(先着順)
オンライン参加：200名

申込期限

令和6年1月24日(水)

*申し込み期限前でも定員に達した場合は、お断りする場合があります。



オープニング | 主催者挨拶・10周年の振り返り

基調講演(60分)

「誰もが働きやすい企業へ～トーンネックの挑戦～」

講師

株式会社トーンネック 執行役員 人事部長
森 弘幸氏



講演項目

1. 会社紹介
2. 「女性活躍」はなぜ必要か?
3. 取組紹介
4. 取組の成果

講演概要

株式会社トーンネックは、業種は建設業であり、男性と女性の職員の割合が9：1の、いわゆる「男性職場」ですが、「多様性の活用による競争力(事業・人材確保両面)の向上」が必要であると考えており、特に「女性活躍」に関しては、女性のキャリア形成の実現と職域拡大を目指して、人材育成や環境整備など様々な取り組みを実施しています。

男性中心のイメージの強い建設業界の企業として、どのように女性活躍を推進し、人材育成や環境整備を行っているのか、詳しくご紹介いたします。

事例発表 | 一般事業主行動計画を策定した企業による事例発表

今年度三重県では、県内の常時雇用労働者数100人以下の企業を対象に、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定・届出を支援する事業を実施しています。本事業で行動計画を策定した企業およびすでに計画を策定し、取組を進めている企業による事例発表を行います。

休憩 (14:55~15:05)

成果発表 | みえ働くサスティナラボ 「働く女性が考えるみえのミライ」

「みえ働くサスティナラボ」では、県内企業・団体に働く女性達が、「こうすればもっと暮らしやすい!働きやすい!」と思うことについて、全3回のワークショップを通し、本音で意見やアイデアを出し合いました。参加者である女性たちが試行錯誤してたどり着いた「こうすればもっとよくなる!」を「提言」として発表します。

- 1) 「みえのミライ」に必要な視点とは
～働く女性のワークショップを通して～
総括コーディネーター 萩原なつ子さん
(独立行政法人国立女性教育会館 理事長)
- 2) ワーキンググループによる知事への提言
- 3) 講評：三重県知事 一見勝之



独立行政法人
国立女性教育会館 理事長
萩原 なつ子さん



三重県知事
一見 勝之



第2部

15:05
16:30

